

何ができるようになるか
○年次で育成する資質・能力



何が身に付いたか
○年次の指導に関する評価

- (1) 自ら進路実現に向けた課題を発見し、協働しながら創造的に解決できる
- (2) 主体的に学び続ける資質・能力を身に付ける
- (3) 多様性を受容し、グローバルな視野で思考・表現・判断できる

- (1) 課題を見だし、協働しながら創造的に解決できる力
- (2) 主体的に学習に取り組み、自らの学習状況を把握し、振り返りながら自己の学びを調整する力
- (3) 多様性を受容し、グローバルな視野で思考・表現・判断できる力



生徒の実態
・ICT 機器などを活用しつつ、主体的に学ぶ機会や対話的に学ぶ機会が少なく、深い学びを実践している生徒が少ないことが課題である
・学校行事やキャリア形成活動において、主体的に活動している生徒が少ないことが課題である

生徒たちの発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする子供への指導
・教育相談体制を整え、学校、保護者、SC、SSW等と連携を図り支援する
・必要に応じて、生徒の特性を踏まえた個別的教育支援計画を作成するとともに、教職員間で共有を図り、学校全体で支援する

目指す生徒の姿
・教師や友人と協働しながら、学問のよさを理解するとともに、学び方を工夫しながら深い学びを実践しようとする生徒
・グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を持つ生徒



何を学ぶか
○教育課程の編成

- (1) 基本的な生活習慣や道徳観を身につけ、自律して生きる力
- (2) 進路実現につながる主体的・自主的な学習を通じた生涯に渡り学び続ける資質能力
- (3) 他者や地域社会と積極的に交流し、思考・表現・判断の基盤を広い視野に広げる態度

どのように学ぶか
○教育課程の実施

- (1) 規範意識を高めるとともに、健康の維持・増進を図る
- (2) 様々なキャリア形成のための行事や面談を通して自己理解を深め、進路実現のための課題解決活動を支援する
- (3) 最高年次生として相手を尊重し思いやる気持ちや連携意識の高揚に努め、グローバルな視野で地域社会に貢献する人材を育成する



実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>【探究を軸とした学びの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STEAM 教育 ・シティズンシップ教育 ・ダイバーシティ教育 | <p>【キャリア形成を支援する指導体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒面談 ・外部模擬試験 ・推薦総合型選抜説明会 ・保護者面談 ・生徒向け進路講演会 ・大学出願検討会 | <ul style="list-style-type: none"> ・進学希望者向け課外 ・年次PTA会 ・関係分掌および保護者と連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・年次集会 ・保護者向け進路講演会 |
|--|---|---|--|

各教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

- ・各教科で身に付けた知識を基盤に、ICT等の思考ツールを用いて、他者と協働して比較・分析し、本質を捉えることができる
- ・地域社会や世界の課題の解決に向けた最適解をグローバルな視野で、合意形成を図りながら提案することができる。
- ・社会の一員として、様々な場面で多様性を理解し、公正な判断に活用しようとする。